

<早寝・早起き・朝ごはん～朝ごはんを食べよう！～>

活動の名称 宝達志水町家庭教育支援活動

団体等の名 家庭教育支援チーム ひなたぼっこ

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園
- 保育園
- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 中等教育学校
- 特別支援学校
- 児童館
- 公民館
- 図書館
- PTA
- 子育て・教育支援団体、NPO
- 企業・事業所
- 病院・保健所
- 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会）
- 行政（保健・福祉部局）
- 行政（その他の部局）
- その他（

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

家庭教育支援チームは、地域全体で家庭教育を支えていくため、元保育士や、子育て支援に関する養成講座を修了した、子育てサポーターリーダーによって結成された団体である。「早寝・早起き・朝ごはん」をテーマにした紙芝居等を作成し、町内の保育園や小学校での実演をとおして、子どもの基本的な生活リズムの大切さや家族揃っての食事の大切さなど、家庭教育の重要性を伝えることを目的としている。

◆ 主な活動内容

家庭教育支援チームのメンバーは、「早寝・早起き・朝ごはん～朝ごはんを食べよう！～」をテーマとした紙芝居、パクパク人形劇やペープサート劇を作成し、町内の保育園や小学校で実演することにより、子どもの生活習慣「生活リズム」向上を啓発している。

また、毎週、町子育て支援センターが行う講座や、イベントなどに参加する若年層の母親達に、子育てについての相談や助言などを行っている。特に、核家族で相談する相手が少ない母親等からも信頼され、地域コミュニケーションの和を広げることにも一役かっている。

他にも、メンバー自身の資質向上のため、子どもの食生活リズムや栄養面だけではなく家族環境の重要性について、講師を招き、研修を行っている。これらの他に、就学時健診や授業参観の時間を利用し、家庭教育支援講座も実施している。

◆ 活動の成果と今後の展望

地域への普及状況を調べるため、平成22年度に行った調査では、平成18年度と比較すると、保育園児の朝ごはんの欠食率は11.4%から1.9%と大幅に減少した。そのため、子ども達や保護者ひとり一人が、生活の中で具体的に習慣づけができるよう生活リズムの向上に取り組むことで、地域全体の活力の向上が図られている。また、定期的に活動を継続することで、町子育て支援センターを利用する子ども達や、保護者との信頼関係が構築されている。また、保育園や小学校へ出向き、人形劇などによる実演は人気があり、視覚に訴える取り組みの成果があがっている。「食育」運動とも連携することにより、今後も成果が期待できる。



<ペープサート劇の様子>



<紙芝居の様子>



<パクパク人形劇の様子>